

緑の相談所だよ

編集・発行

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

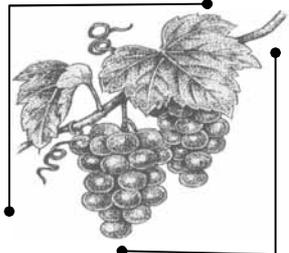
No.96

発行日 平成17年10月 1日

講習会のご案内

冬に向けての庭木の管理

とき : 10月9日(日)
午後1:30~3:30
講師 : 緑の相談所 相談員 伊藤 征夫
定員 : 50名

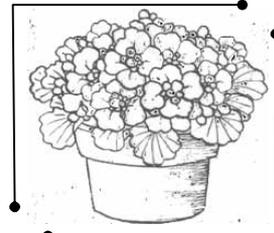


冬に向けての洋らん栽培

とき : 10月23日(日)
午後1:30~3:30
講師 : 旭川蘭友会 会長 笠原 幸三 さん
定員 : 50名

秋から冬への鉢物管理

とき : 11月13日(日)
午後1:30~3:30
講師 : 緑の相談所 相談員 佐藤 吉光
定員 : 50名



植物を育ててみよう (植物を育てる基礎知識)

とき : 11月27日(日)
午後1:30~3:30
講師 : 緑の相談所 相談員 芝山 一雄
定員 : 50名

お申し込み・お問い合わせ先

電話 (0166) 65-5553
旭川市緑の相談所まで、お気軽にお電話ください。

定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。
植物の育て方などにつきましては、お気軽にご相談ください。

シュウメイギク

キンポウゲ科 イチリンソウ属 *Anemone hupehensis* V. *japonica*

本州、四国、九州及び中国に分布しています。日本では野生状態で山地に生える大型の多年草ですが、古くは中国から渡来してきたといわれています。旭川地域では、古くから秋を彩る花の一つとして多くの家庭で育てられています。

特 性

和名を秋明菊、別名キブネギク（貴船菊・京都の貴船山の溪谷に野生しているため）と呼ばれています。花は茎の頂部に一輪咲き、一重や八重咲き種に赤、白、ピンクなどの花色も豊富で、その草姿が清楚で茶花や庭植えて親しまれています。1800年代にイギリスの採集家によって中国からイギリスに渡り、その後多くの園芸品種が作られ日本にも広く普及しました。



植え場所と管理

よく日の当たる所に植え（鉢植えも可）、真夏は半日陰にして涼しくすると生育が良くなります。また、乾燥に弱いので水かけに気をつけてください。肥料は春にやりましょう。

寒さにも強く旭川地域の露地で容易に越冬し（鉢植えは庭に鉢を埋める）、育てやすい花の一つです。

展示室の植物たち

シリーズ「4」

パンノキ

クワ科 パンノキ（アルトカルプス）属 *Artocarpus altilis* Fosb. Corr. St. John

【温室の中央で大きな葉を伸ばしています。】

属名はギリシャ語で「パンの果実」の意味で果実を焼くと白いパンのようになることから名づけられています。

ポリネシア原産の熱帯果樹で高木の常緑樹です。現地では3～4キロになる果実を焼いて食べたり、酒や砂糖漬けに加工しています。デンプンやタンパク質を含むため、18世紀には西インド諸島の植民地の主食として、南太平洋から移植しようとした歴史上の出来事（バウンティ号の反乱）の1コマもあります。

10月の園芸作業

1 鉢花(草花)類

アザレア、ツバキ、クンシラン、ハゴロモジャスミン等は開花に一定の低温期間が必要ですので、強い霜に注意しながら出来るだけ戸外で管理し、入室してから涼しい場所に置きましょう。

アマリリス、カラー、球根ベゴニア等は低温で管理し、水やりを中止して、葉が落ち自然に枯れてきたら鉢ごと休眠させましょう。

ダリア、グラジオラス等は軽い霜に当ててから掘り上げ、ダリアは7~8程度の低温の場所、グラジオラスは乾燥して凍結しない場所で貯蔵しましょう。

2 庭木類

落葉後カンバ類、カエデは太い枝を試し切りして1日おいて樹液が出なければ剪定しましょう。

マツ等の高木は枝つり(雪つり)、落葉の進んだ花木等の低木は結束・支柱立てを始めましょう。

バラは1~2度の霜に当たっても葉を落とさないで、芽を傷めないよう注意して葉を落とし、病害虫の防除に努めましょう。

3 洋ラン類

シンビジウムは蕾が目立ってくる時期。室内に入れた鉢は日当たりの良い最低温度10以下、日中の温度が20以上にならない場所で管理しましょう。

カトレア類の秋咲き種は最低12~15に保ちましょう。冬咲き、春咲き種のシーズの発生した株は休眠期を経て開花に進む為、水を控え最低気温12~15で、最高気温25以上にならないように注意し、湿度を保つ工夫をしましょう。

デンドロビウム・ノビル系は戸外で霜を避けながら管理し、気温が5位に下がったら入室します。バルブが肥大し、黄色味を帯び始め花芽分化へと進みますので、気温は10~18位に保ち、日当たりの良い窓辺に置き水は控えましょう。

コチョウランは最低18位を保ち、最高25以上にしなさい。10月末まで晴天の日の窓辺にはレースのカーテンが必要です。花芽が伸び始めても開花まで120日位かかります。

11月の園芸作業

1 鉢花(草花)類

ハイビスカス、シクラメン、エラチオールベゴニア等開花中の鉢は日当たりの良い場所に置き、液体肥料を与える。シクラメンは夜温が高いと花が早く終わるので夜は温度の低い場所に移しましょう。

晩生のユリの植え替え、植え込み時期です。チューリップ等の植え残し、遅れて入手した球根類は直ぐに植え込みましょう。一度植え込んだチューリップ等は根が伸びている為植え替えは出来ません。

宿根草は茎葉を刈り取り、1年草は引き抜きます。病株はゴミとして出しましょう。

2 庭木類

フジは上旬までに今年伸びた枝(つる)を3~4(5)節のところを剪定しましょう。

なお、剪定の終わってないカエデ、カンバ類は根雪前に終わらし切り口には癒合剤を塗りましょう。

高枝つり、花木の結束を済ませましょう。ただし、コモや暴風網の囲いは急いで行わず、庭木類は低温に当たる事で耐寒性を増すので12月に入ってから行いましょう。

3 洋ラン類

シンビジウムは花茎の伸長期です。温度は15前後の明るい場所に置き20以上にならない。高温は蕾の黄化、落蕾の原因となりますので注意しましょう。

カトレアで開花中の株はやや低温で管理すると長持ちします。温度は25以上にならないように注意しましょう。

一般のデンドロビウム・ノビル系はバルブの充実期の後半である花芽分化の前段にあたります。日中は日光の当たる場所に置き、しっかり低温に合わせる。

日中温度20以上を越えないように換気に努め、夜間7~10の低温で管理することで花芽分化に繋がります。

コチョウランは室内温度18に保てば水は乾いたら与え、その都度薄い液体肥料を与えても良い。窓辺の日光は直接当てても葉焼ける心配はなくなります。暖房が入るようになると乾燥するので、バットに水を入れその上に鉢皿を置く等、湿度を保つ工夫をしましょう。

ブドウを剪定する時期が来ました！

＜剪定は秋にしか出来ませんのでお忘れなく。＞

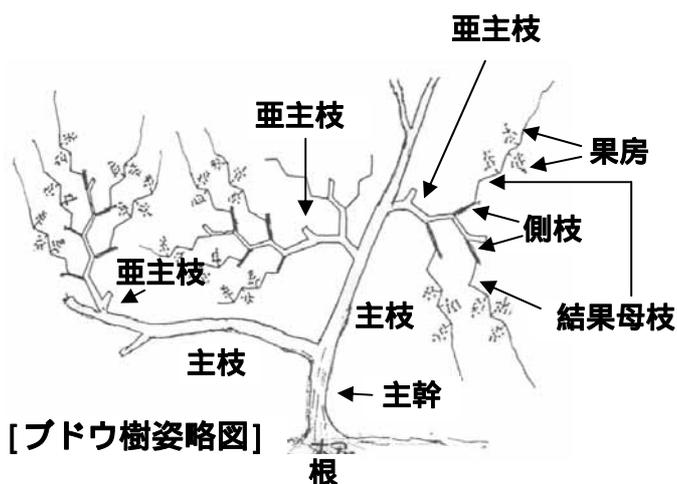
街並みを歩いていると、庭のブドウ棚にたわわに色付いたブドウの房がとても美味しそうに感じられる頃になりました。しかし、中には葉ばかりが茂って果房があまり見えないものや、果房が疎らなもの等の課題のあるものも見かけられます。それらは前年に良い剪定が出来たかどうかにかかっています。剪定については多くの事柄があるのですが、今号はごく基本的でこの秋にどうしても行わなければならない結果母枝の剪定について述べます。

1 ブドウの樹の各部の名称について.

以下の説明の為に、最初にブドウの株の各部の名称を説明したいと思います。

ブドウは、右図のような構造で、それぞれの部分に名称が付けられています。

根から始まり、主幹 主枝 亜主枝 側枝 結果母枝から構成されています。そして、結果母枝をどのくらい付けるかによって収穫する果房数が決まります。



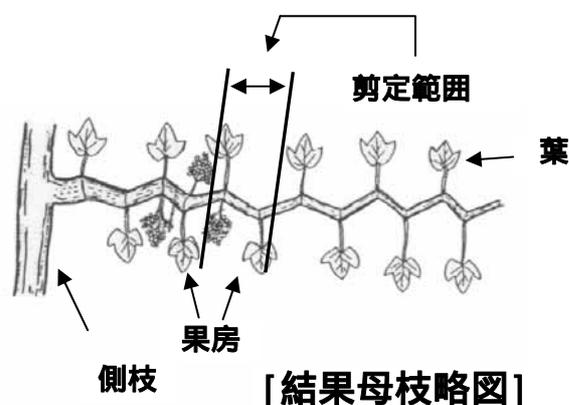
2 剪 定 . (結果母枝の切り戻し)

剪定の時期は、結果母枝が茶色く木化し落葉した11月上旬です。

結果母枝は、今年、果房をつけた枝(つる)で1枝当たり、1～3の果房をつけます。また、この枝から出た芽が伸びて来年の結果母枝になりますがこのままにしておくと来年は沢山の結果母枝ができ過繁茂になります。

ですから、剪定は結果母枝略図のように3～5芽を残して切り取ります。来年の結果母枝の数はブドウ棚の面積によって概ね決まり、1坪当たり16本前後で、発芽の芽数が多い場合は発芽後の芽かきによって調整します。なお、切り取る時、枝や芽を寒さから守るために残す芽と切り取る芽の中間で切ります。

剪定後は枝(つる)を棚または垣根から地面に降ろして越冬させます。



3 切り取った結果母枝の利用.

切り取った枝は、外で軽く土をかけて冬越しさせ、春に3芽づつに切って、畑に挿し木すれば苗を作ることができます。(5月上旬頃が良いでしょう。)